

## 1. 長期成長ビジョン

「地球益」を考慮した「工作機械」「建築設備機器」「環境改善機器/産業機械」を製造するメーカー  
技術力を基に半導体、医療、航空宇宙分野にも進出し、持続可能な未来を目指して国内外で事業を展開  
グローバルな視点で成長を追求し、地域社会や地球全体に対する責任を果たす

### 長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

#### 「地球益」を第一に考えたモノづくり

- 環境負荷低減や有害なものを出不さい、地球上の生物にとってやさしい製品づくりを実践することで脱炭素社会へ貢献する企業であり続ける

#### 海外への展開

- 2025年3月 インドに現地法人「ホーコス・インド会社」を設立
- 自動車工場向け機械のアフターサービスを中心とし、タイの子会社とともに、アジア地域での更なる販売強化を図り、迅速かつ充実したサービスの提供を行う

#### 生産の効率化と持続的な質上げ

- 地域を牽引する製造業者として自社だけでなくサプライチェーン全体での付加価値向上を目指す
- 結果として、質上げにとどまらず、福山市に優秀な人材が集結することで、地域全体に波及する効果が一層増幅される

#### 本補助事業

①新工場建設 ②従来の生産方法を抜本的に見直す  
生産能力の拡大・労働生産性の向上により、持続的な質上げを実現  
サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組む

#### 目標

#### 会社全体の売上成長目標（2023～2029年度）

売上高成長率 169% / 売上高増加額 167億円

#### 会社全体の質上げ目標（2023～2029年度）

- 1.95%（直近事業年度～基準年度）
- 5.42%（基準年度～事業化報告3年目）

### 外発的動機

#### 2030年問題(少子高齢化・労働力不足)への対応

- 2030年には日本全体の労働力不足が深刻化し、様々な業種で深刻な影響を受けると見込まれている
- 製造業においても人手不足によるリードタイムの長期化や、安定した生産能力を確保することが課題となっている
- これらの問題を解決するためには、サプライチェーン全体での取り組みが必要であると考え

### 事業機会を逃さない投資の必要性

- 昨今では、エネルギー価格や資源価格が上昇するなか、安価で加工性の得られる鉄のニーズが更に高まりつつある
- 鉄製品専用工場を新設することで、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組み、取引先との共存共栄の構築を目指す

### 内発的動機

#### 環境への配慮に向けた取組

- 約55年前、社会課題であった公害問題解決の一助を担うべく、集塵装置製造に参入。以来環境に配慮した製品開発に強みがある
- 引き続き環境に配慮した製品を開発・製造し、当社の製品を使用いただくことで、日本全体のカーボンニュートラルに貢献する

### 海外へ事業拡大

- 当社売上高の約60%を工作機械が占めている
- 工作機械の需要は景気の変動に敏感であり、経済状況に応じて大きく変動することから、海外への事業拡大を通じて地域分散を図り、経営の安定化を目指す

## 2.補助事業の概要

ホーコスは「GO GREEN」のスローガンのもと、「工作機械部門」「建築設備機器部門」「環境改善機器/産業機械部門」3部門の強みを活かし、新工場を建設。自動化を含め従来の生産方法を抜本的に見直し、「地球益」に貢献する「モノづくり」を目指す

### 補助事業の 背景・目的

- (背景) 【外部環境】 サプライチェーンにおける人手不足と鉄製品に対する顧客ニーズへの対応  
【内部環境】 鉄製品専用の自社工場を持たず労働集約型の生産体制であり、リードタイムが長期化
- (目的) ・「建築設備機器部門」をメインとする3部門の鉄製品専用工場を新設し、生産能力を拡大させる  
・人手不足を解消するため自動化設備を導入し、サプライチェーンの効率化を実現する  
・自社にノウハウを蓄積することで意匠性も向上させ、自社製品の付加価値を更に高めていく

事業費  
(補助額)

30億円  
(7.1億円)

### 設備投資の 内容

#### 【設備投資内容】

・広島県福山市の「福山北産業団地」に鉄製品専用工場を新設

主な機械装置	取組内容
工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産能力の拡大を目指し、工場内の溶接・板金加工・塗装のプロセスを自動化設備で効率化することで、省力化を実現</li> <li>サプライチェーンにおける人手不足の課題に対し、革新的なソリューションを提供</li> <li>ホーコスの集塵技術を活かし、溶接時に発生するヒューム対策を行う</li> </ul>
うち板金 ファイバーレーザー複合加工機 パネルベンダー 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>板金加工と一部溶接の自動化</li> <li>CADCAMによる効率化</li> </ul>
うち塗装 自動ライン塗装システム (粉体塗装) 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗装工程を自動化</li> <li>有機溶剤から粉体塗装に変えることで、環境や人体への影響を低減させる</li> </ul>



### 目標値

項目	2026年度 (基準年度)	2029年度 (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	862	1,281 (年平均上昇率 + 14.1%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	565	663 (年平均上昇率 + 5.5%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 5.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	753	780